

目 次

| | |
|--|--|
| 第2版へのはしがき | |
| はしがき | |
| 略 語 表 | |
| 第1章 西洋古代・中世史 ——昔の人々は法とどう関わってきたか……………1 | |
| I 法の源流 (2) II 中世の社会と法 (9) III 中世社会, 中世法から近代社会, 近代法の成立へ (12) | |
| 第2章 西洋近代史 ——近代国家の登場と民主制のはじまり……………15 | |
| I 中世ヨーロッパの封建社会 (16) II ルネサンスと宗教改 革 (17) III 絶対王政の時代 (18) IV 市民革命の時代 (21) | |
| 第3章 日本近代史 ——立憲政体下での政党の台頭と衰退……………33 | |
| I 近代国家の建設 (34) II 政党政治の確立 (40) III 政党 政治の崩壊 (48) | |
| 第4章 日本戦後史 ——日本国憲法の理念と国際関係の現実の狭間で……………55 | |
| I 戦後の日本——ファシズムの崩壊と米ソ冷戦構造の確立 (56) II 高度成長期の日本——冷戦の継続と多極化 (61) III バブル経済崩 壊後の日本——社会主義の凋落と「文明の衝突」(66) | |
| 第5章 個人と家族 ——2つの転換～戦前から戦後・戦後から現在～……………71 | |
| I 基本的人権 (72) II 家 族 (76) III 現代の家族問題 (82) | |
| 第6章 契約と自己責任 (私的自治1) ——民法の基本原則と意思表示 ……………87 | |
| I 法における民法 (88) II 民法の基本原則——近代民法の原 則 (90) III 私的自治——契約と意思表示 (92) IV 契約と所 | |

有権（物権）の交錯（96）

第7章 保護と救済（私的自治2）——消費者問題と公害問題を中心に…99

I 契約と消費者問題（100） II 担保と消費者問題（104） III
不法行為と消費者問題・公害問題（107） IV 権利の実現＝司法上
の救済（112）

第8章 企業と資本主義——企業を取りまく主要な法制度を概観する…115

I 企業活動に関する法（116） II 企業活動と取引に関する法
（123） III 企業活動と企業のグループ（126）

第9章 労働と社会保障——福祉国家・日本における社会的弱者の救済…131

I 労働者と使用者との法律関係（132） II 労働者の連帯と使
用者への対抗——労働基本権の法認（136） III 人たるに値する生
活の実現——生存権と社会保障（141）

第10章 犯罪と刑罰——刑事法の世界……………149

I 刑罰（150） II 犯罪（153） III 刑事手続（157）

第11章 国家と条約——国際社会に共通するルール……………163

I 国際社会の誕生と発展（164） II 20世紀以降の国際社会
（172） III グローバリゼーションと国際社会の課題（175） IV
国際法の日本への影響（179）

第12章 戦争と平和……………181

I 第二次世界大戦までの国際政治（182） II 第二次世界大戦
後の国際政治（188） III 冷戦終結後の世界——地域紛争・民族紛
争・テロ（195）

索引 199

Column 目次

- 1 ギリシャ悲劇にみる法思想 (4)
- 2 ローマ法の形式性 (6)
- 3 近代の法典編纂 (11)
- 4 イギリス (英吉利) (20)
- 5 会議は踊る (28)
- 6 大日本帝国憲法における天皇制 (38)
- 7 憲法案の幅 (58)
- 8 自民党の派閥 (64)
- 9 法典の口語化 (68)
- 10 法化社会 (68)
- 11 個人主義 (72)
- 12 明治憲法の下での仏教 (73)
- 13 ライフサイクル (80)
- 14 遺言の方式 (80)
- 15 非嫡出子に対する差別 (82)
- 16 国際結婚の増加 (83)
- 17 日本国憲法24条の性格 (84)
- 18 慣習と法律の関係 (88)
- 19 日本民法の歴史 (90)
- 20 民法 (債権関係) 改正法案 (90)
- 21 宇奈月温泉事件 (97)
- 22 債務奴隷 (104)
- 23 公害問題の展開 (107)
- 24 債権の発生原因 (108)
- 25 胎児と不法行為 (111)
- 26 安全配慮義務 (112)
- 27 権利義務の帰属主体としての法人 (117)
- 28 WTO 紛争処理制度 (126)
- 29 株式交換・株式移転制度 (129)
- 30 ILO とわが国の最低労働条件 (134)
- 31 労働法のこれから (141)
- 32 過労死と労災認定 (145)
- 33 国民皆保険・皆年金への懸念 (146)
- 34 学派の争いの前提 (151)
- 35 類推解釈, 拡張解釈, 言葉の可能な範囲内での解釈 (155)
- 36 国際法は法か (166)
- 37 国際法と国内法の関係 (169)
- 38 国家は他国から承認される? (173)
- 39 台風はなぜ日本に上陸するのか? (176)
- 40 国際政治に対する世論の関心の高まり (185)
- 41 マッカーサーの日本中立論と沖繩 (190)

Keyword 目次

- 1 『神の国』 (8)
- 2 大正デモクラシー (45)
- 3 55年体制 (62)
- 4 ロッキード事件 (64)
- 5 戸籍 (77)
- 6 家事審判 (79)
- 7 血族 (81)
- 8 合計特殊出生率 (85)
- 9 相殺 (93)
- 10 一般条項 (94)
- 11 時効 (97)
- 12 割賦販売 (104)
- 13 リーマン・ショック (121)
- 14 電子記録債権 (125)
- 15 TOB (株式の公開買付け) (128)
- 16 解雇権濫用の法理 (135)
- 19 ラダイト運動 (136)
- 20 春闘 (137)
- 21 再審 (160)
- 22 国連海洋法条約 (164)
- 23 国際慣習法 (165)
- 24 外交官特権 (167)
- 25 拒否権 (171)
- 26 政府開発援助 (ODA) (171)
- 27 サミット (178)
- 28 人間の安全保障 (197)